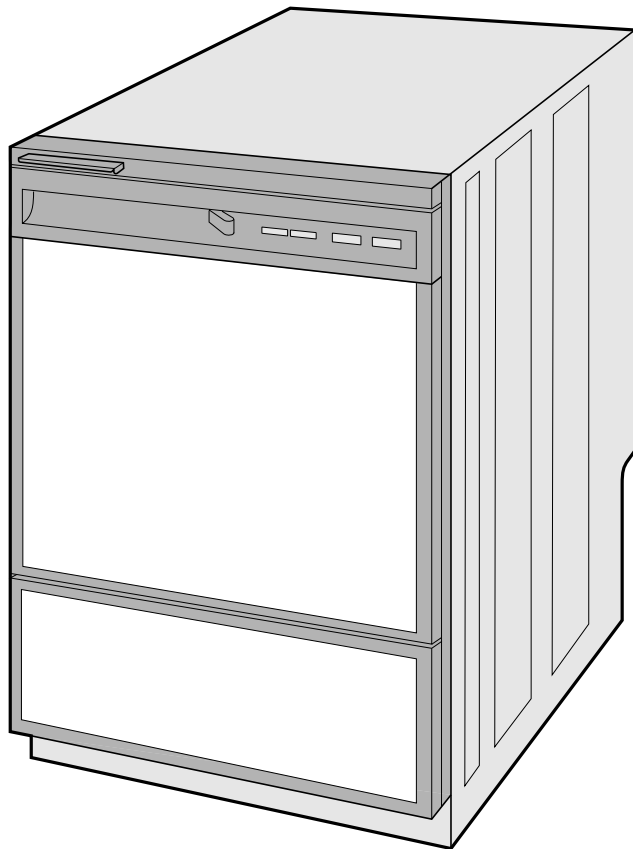


# 食器洗い乾燥機 45cm幅シリーズ

品番 NP-U45B2P1(ドアパネル型)  
NP-U45B3E1

## 据付工事説明書

### もくじ



安全上のご注意 <b>必ずお守りください</b> .....	2
各部のなまえと寸法.....	4
設置場所について.....	5
電気工事について.....	6
給・排水工事.....	8
設置工事手順.....	10
試運転.....	16
試運転後の作業.....	18
買い替えの時のパネルの付け替えについて... ( ドアパネル型のみ適用)	19
買い替えの場合の配管施工例.....	19
工事後の点検(チェックリスト)...裏表紙 仕様.....	裏表紙 裏表紙
お客様への取り扱い説明.....	裏表紙

### 工事をされる方へのお願い

- 配管工事は全て水道法、建築基準法、各都市の条例、規定に準じて行ってください。
- 製品の機能が十分発揮されるように、この据付工事説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- 工事終了後 **工事後の点検** のチェックリストに基づいて必ず再確認を行ってください。
- この説明書は工事終了後、お客様へお渡しください。
- 据え付け工事に関して不明な点がありましたら事業部へご相談ください。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。


表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。


**警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。


**注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は絵表示の一例です。)

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告

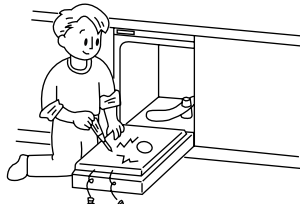
絶対に分解したり修理・改造しないでください。



分解禁止

発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

●修理は販売店へご相談ください。

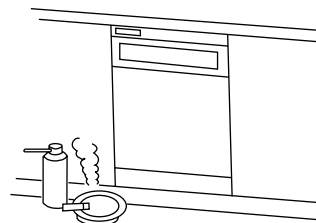


火のついたローソク、蚊取り線香、煙草などの火気や、揮発性の引火物を近づけないでください。



火気禁止

火災や変形の恐れがあります。

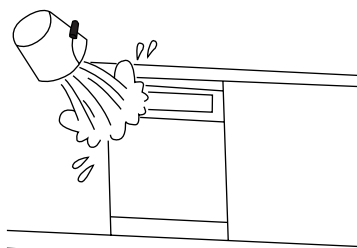


水につけたり、水をかけたりしないでください。



水ぬれ禁止

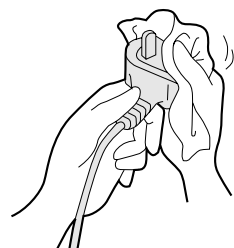
ショート・感電の恐れがあります。



電源プラグは、刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。



火災の原因になります。



## 警告

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。)

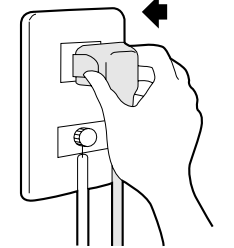


禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。



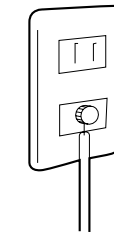
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

アースを確実に取り付けてください。



アース線接続



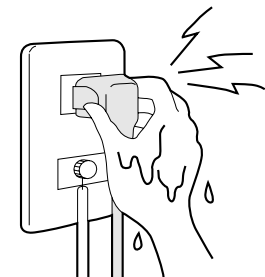
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

●アース工事は必ず販売店に依頼してください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしないでください。



ぬれ手禁止



感電の原因になります。

定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使ってください。



他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。

## 注意

コンセントの差し込みがゆるいときや、電源コードや電源プラグが傷んでいるときは使用しないでください。



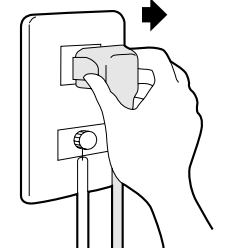
禁止

感電・ショート・発火の原因になります。

●販売店に点検・修理を依頼してください。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜いてください。



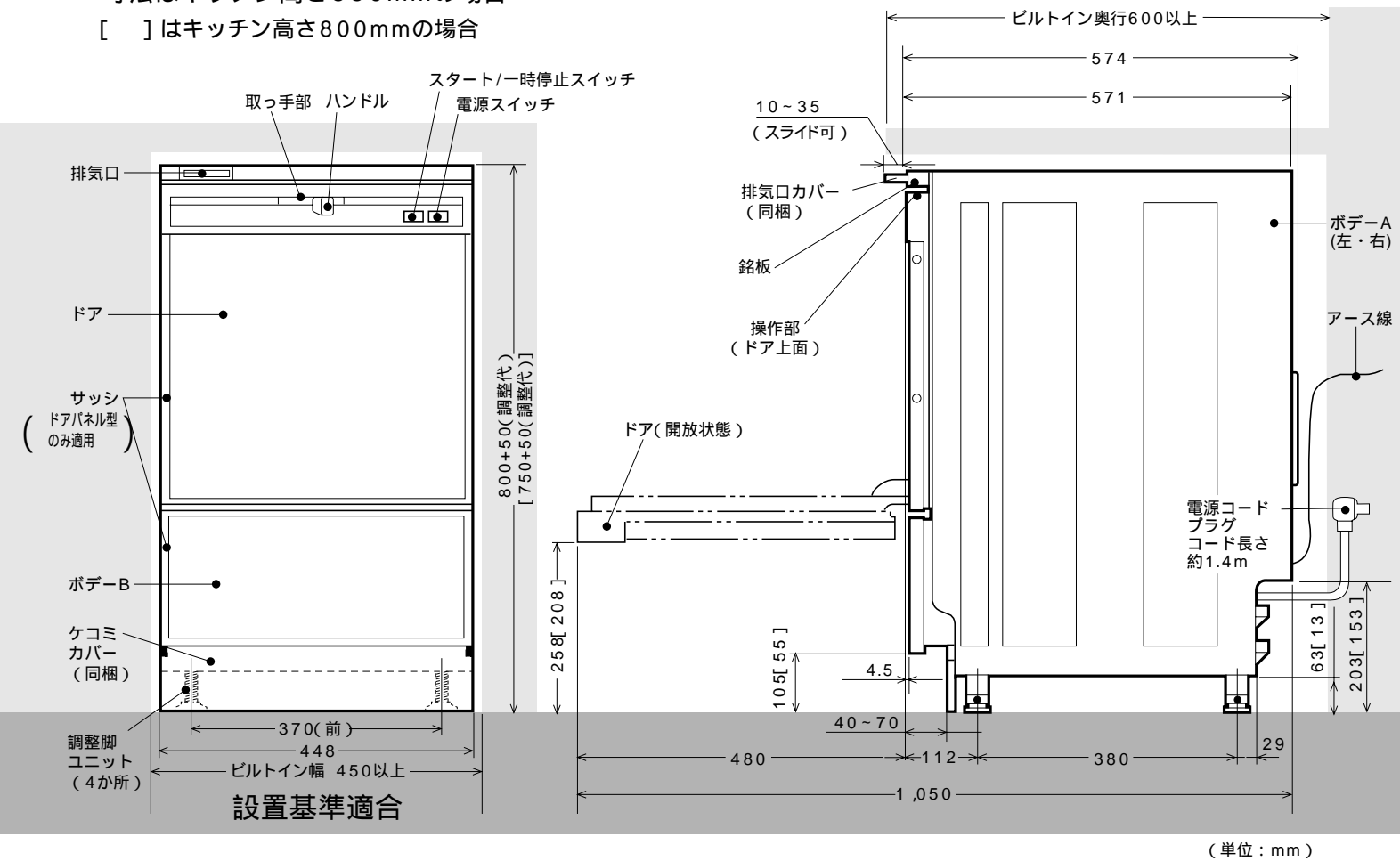
感電やショートして発火することがあります。

# 各部のなまえと寸法

● 本体およびかごのテープやダンボールなどは全部取り外してください。

寸法はキッチン高さ850mmの場合

[ ] はキッチン高さ800mmの場合



## 付属品の確認

**据え付け工事に必要な付属品** **工事用**

- ホースバンド (各1個)
- 排水ホース
- 転倒防止金具 (各1個)
- タッピンネジ大 (2本)
- タッピンネジ小 (2本)
- ケコミカバー
- タッピンネジ (黒色2本)
- 排気口カバー
- 型紙 (本体天面のダンボール)

転倒防止金具の位置決めで使用。

**ご使用時に必要な付属品** **お客様用**

- 専用洗剤 (100g) 計量スプーンつき

# 設置場所について

寸法はキッチン高さ850mmの場合

[ ] はキッチン高さ800mmの場合

**中間にビルトインする場合**

**片側がフリーの場合**

- 片側がフリーの場合、幅150mmキャビネット等を使用して、カウンターを支える処置をします。

150mmキャビネットを使用

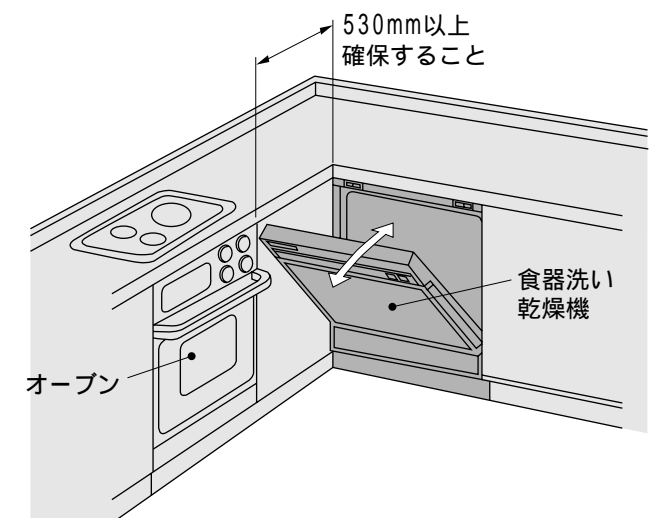
**片側が壁面または、ツールユニットの場合**

- カウンター支持金具は別売補強部材 (品番N-L3) 又は市販のL金具を使用します。締結ビスの長さは、右図の①寸法より5mm以上短くして、カウンターの金属部に接触させないでください。電気設備技術基準182条により義務づけられています。

- ビルトイン型加熱機器等と並べて設置しますと、カウンター上に荷重をかけた時、たわむことがありますので、補強処置を施してください。(別売補強部材 (品番N-L3) 又は市販のL金具を使用します。)

## お願い

- L型配列のコーナー部に設置すると、本機のドアを開閉する際にオープン等の取っ手に当たり、故障修理の際に本機が引き出せない場合がありますのでドア開閉のスペースを確保してください。本機の金属部分が、家屋の壁中のラスや金属板、流し台のステンレス天板と電氣的に接触しないようにしてください。電気設備技術基準182条により義務づけられています。



# 電気工事について

工事は全て電気設備技術基準に準じて行ってください。

- 電源回路は100V、15A以上の専用回路が必要です。

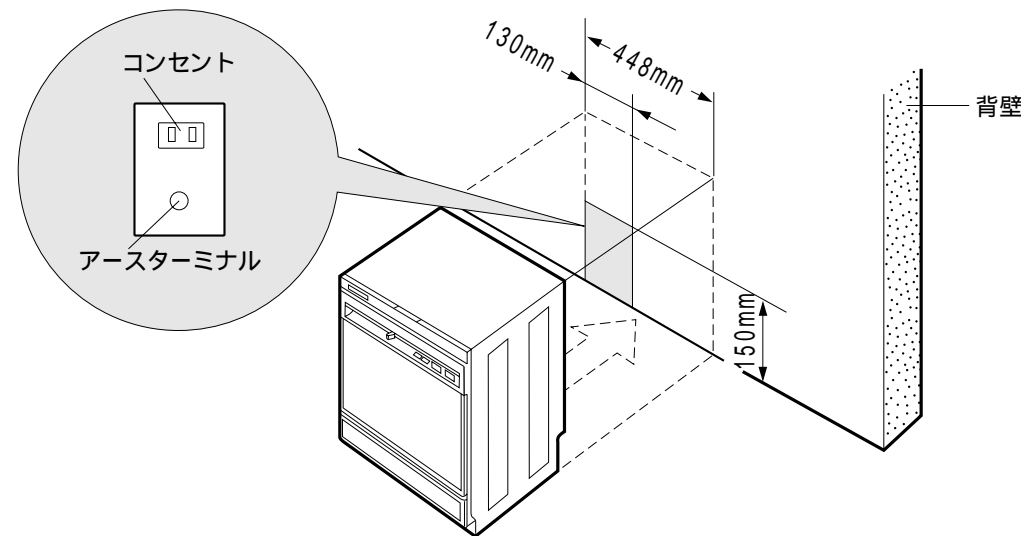
## 警告

定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使ってください。



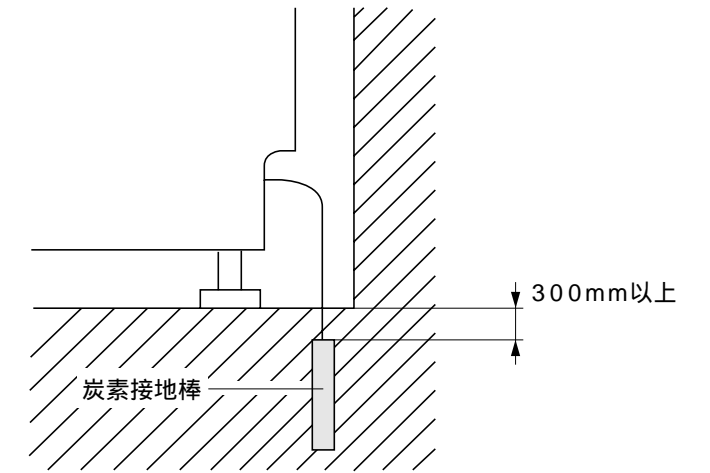
他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。

- 本体を設置する場所の背壁に、給・排水工事部分を避けた図の位置に埋込みボックスを設け、これに電源電線、アース線を配線します。
- コンセントは125V、15Aのアースターミナル付埋込みコンセントを使用してください。（コンセントは壁面に必ず固定します。）
- アース工事を必ず行ってください。（アースは法令上必要です。）



## 炭素接地棒でアースする場合

- 炭素接地棒（別売：部品番号ANP3C-160）を使用される場合、アース工事は必ずお買い上げの販売店か電気工事店にご依頼ください。（電気工事士の有資格者がD種〔第3種〕接地工事をするよう法令で定められています。）
- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。（法令等で禁止されています。）
- 設置場所の変更やご転居の際には、再度アースの取り付けをしてください。



地面（できるだけ湿った場所を選ぶ）

## 漏電しゃ断器の設置について

万一の漏電事故時の安全確保のために、漏電しゃ断器の設置が必要です。

推奨漏電しゃ断器——住宅分電盤用小形漏電ブレーカー

品番（松下電工）BJS 203  
定格電流20A、感度電流30mA  
（AC100-200V両用）

既設分電盤の分岐安全ブレーカーHB型と同一サイズですから、そのまま取り替えでき、専用回路の漏電保護ができます。

尚、主幹に漏電しゃ断器が設けてある場合は、新たに漏電しゃ断器を設置する必要はありません。

# 給・排水工事

本機が使用できる水道水圧は0.03～1MPa(0.3～10kgf/cm<sup>2</sup>)の範囲です。1MPa(10kgf/cm<sup>2</sup>)を超える場合や台所の水栓等の操作時に水道配管の異常音(ウォーターハンマー現象)が発生する場合は水道工事店にご相談して減圧弁を必ず取り付けてください。

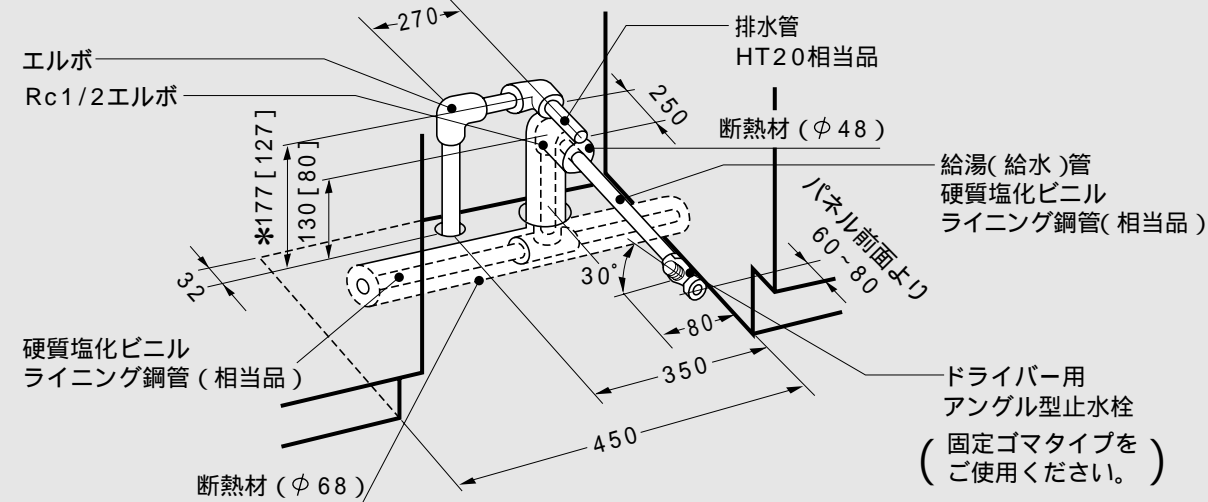
本機は配管直結タイプですので設計及び施工工事の段階で給・排水の位置決めを正確にしてください。

- 排水管は給湯(給水)管の上に配置します。
- 給湯(給水)管は硬質塩化ビニルライニング鋼管(相当品)を使用して、断熱材を巻いてください。(給湯の場合は必ず耐熱配管にします。)
- 排水横枝管に至るまでの接続部分も耐熱塩化ビニル管(HT20相当品)を使用してください。
- 配管用接着剤は耐熱用を使用してください。
- 給・排水配管の端面はバリのないよう処理し、かつ管内に残っている異物(切り粉など)を完全に取り除いてください。

寸法はキッチン高さ850mmの場合 [ ]はキッチン高さ800mmの場合 (単位: mm)

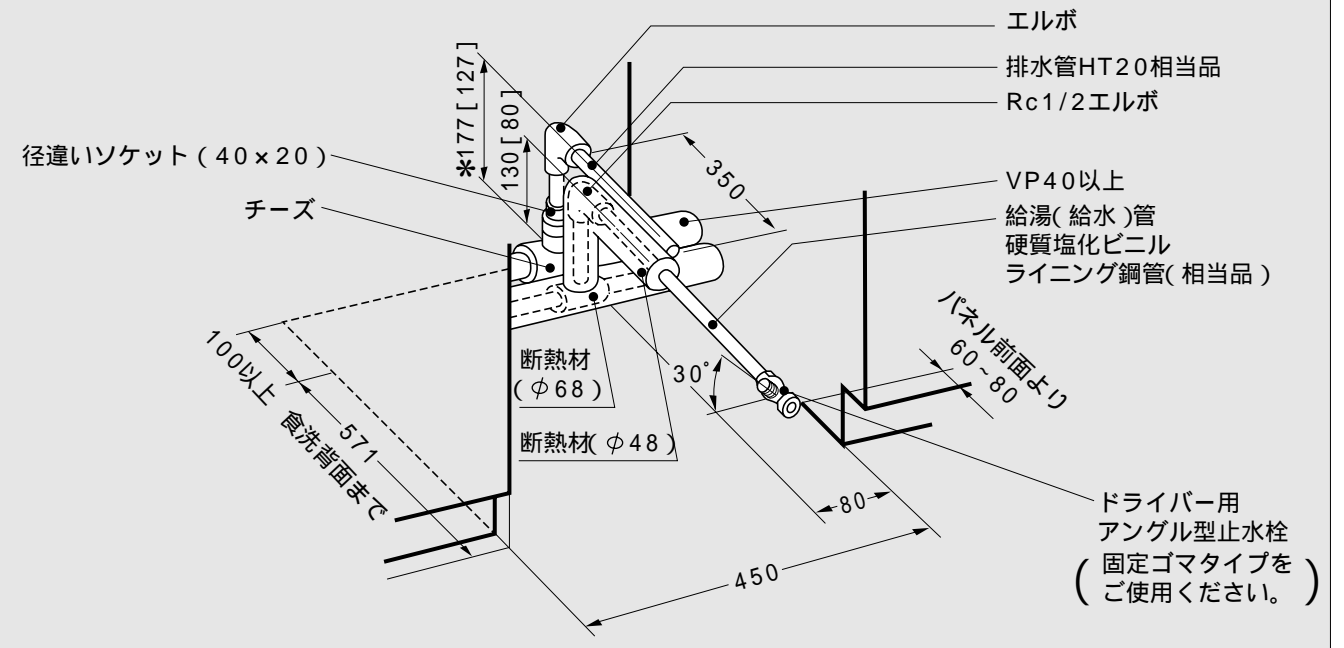
## 床立上げの場合

排水管の長さ250mmは、キッチン奥行L=650mm基準です。  
(キッチン奥行が長い場合は延長してください。)  
\*排水管高さ177 [127]は、建築基準法上必要な寸法です。

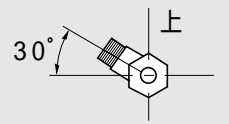


## 床ころがしの場合

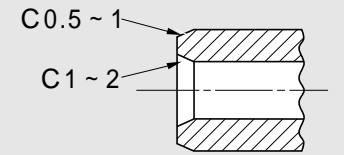
キッチン奥行L=750mm又は壁面と食器洗い乾燥機背面との距離に余裕がある場合のみ可能  
\*排水管高さ177 [127]は、建築基準法上必要な寸法です。



止水栓角度



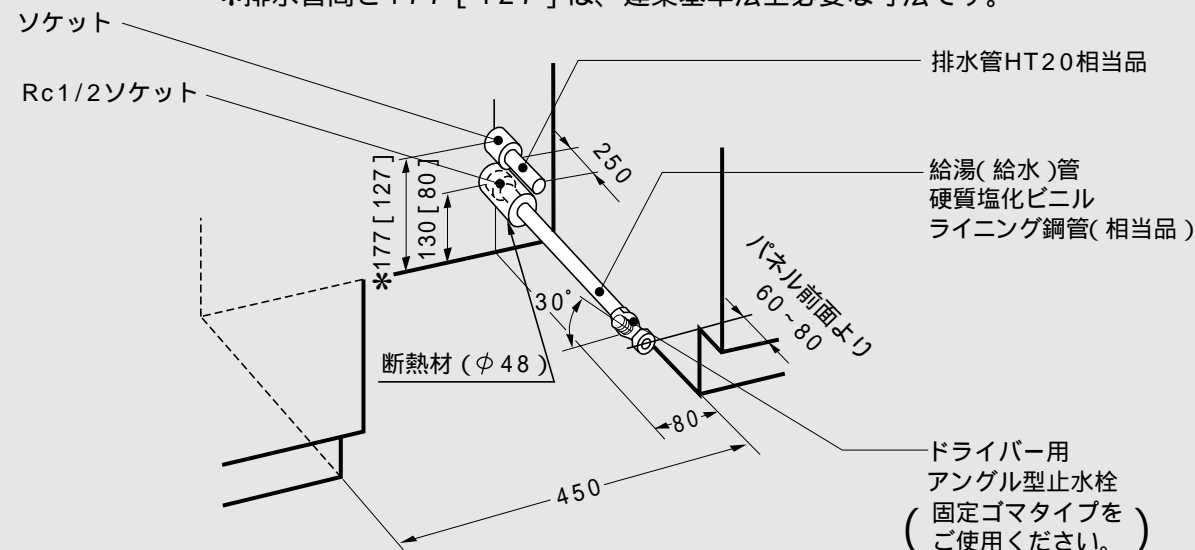
- ドライバー用アングル型止水栓を必ず取り付けてください。(止水栓は閉じた状態で、出口角度を30°程上向きに)



- 排水管HT20の端面内周に、面取り(C1~2)を施してください。外径外面側は面取り(C0.5~1)をつけるとホースの挿入が容易になります。

## 壁出しの場合

排水管の長さ250mmは、キッチン奥行L=650mm基準です。  
(キッチン奥行が長い場合は、延長してください。)  
\*排水管高さ177 [127]は、建築基準法上必要な寸法です。



## 給湯機について

- 給湯は中型以上の深夜電力利用温水器、石油給湯機、10号以上の先止め式給湯機等で70℃以下の温度に調整可能な機器に接続してください。  
電気温水器には別売のミキシングバルブ【AD-M2140、AD-M2140N(寒冷地用)】(松下部材センター扱い)の接続をおすすめします。
- 小型深夜電力利用温水器には接続しないでください。本機へ給水されない恐れがあります。
- 食器洗い乾燥機の給湯圧力は0.03～1MPa(0.3～10kgf/cm<sup>2</sup>)の範囲で使用してください。

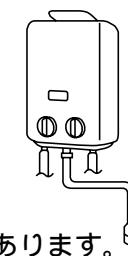
## 注意

元止め式湯沸器には接続しないでください。



禁止

湯沸器からの水もれの恐れがあります。



高水圧地域では給湯機に所定の減圧弁を必ず取り付けてください。

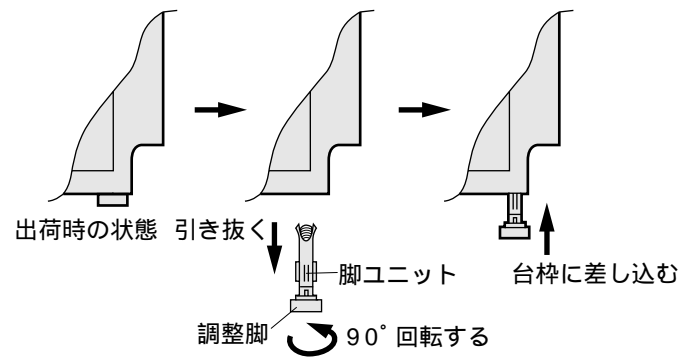


水もれの原因になります。

# 設置工事手順

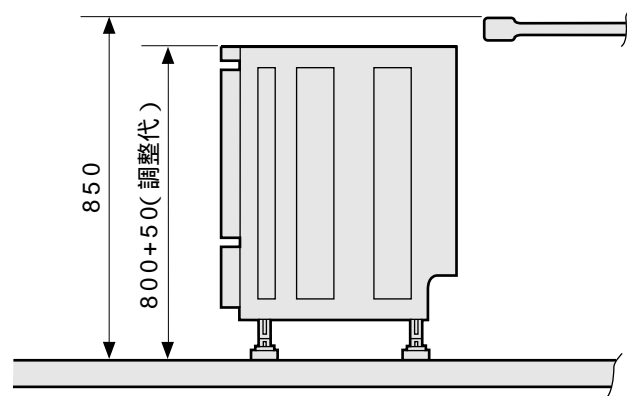
## 1 本体の高さ調整

- 本機は4カ所の脚ユニットが台枠に着脱できる構造になっており、出荷時の状態から脚ユニットを引き抜き、90度回転させて台枠に差し込むことにより、本機の高さを50mm高くすることができます。
- 高さの微調整は調整脚を回転させながら行うことができます。  
(調整脚の回転は電動ドライバーでも調整できます。)



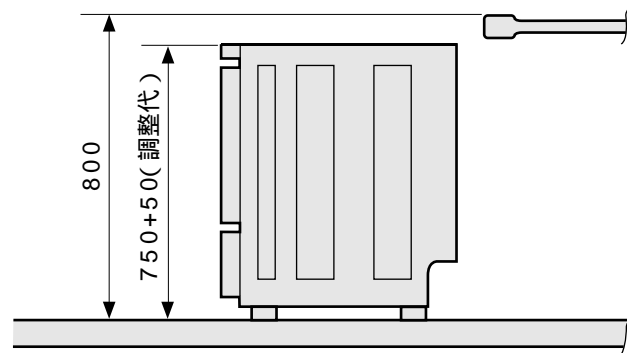
### キッチン高さ850mmの場合

脚ユニットを台枠から引き抜き、90度回転させて差し込んでください。調整脚はいっぱいに締め込んでおいてください。この状態で本体高さは800mmとなります。



### キッチン高さ800mmの場合

出荷時の状態で、調整脚をいっぱいに締め込んでおいてください。この状態で本体高さは750mmとなります。



本体の一部と金属製のカウンターを接触させないでください。  
電気設備技術基準182条により義務づけられています。

## 2 転倒防止金具の取り付け

### ⚠ 注意

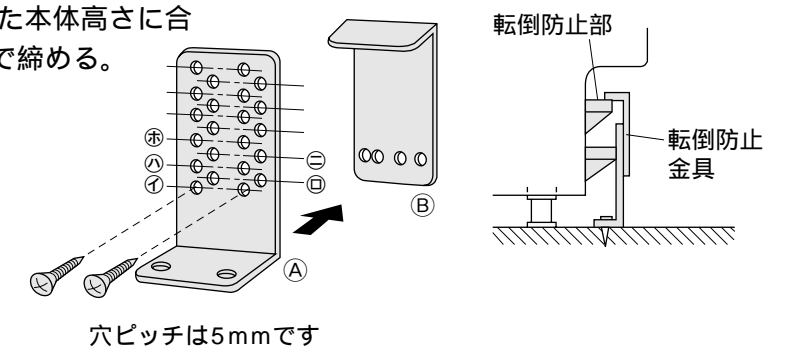
必ず転倒防止金具を取り付けてください。



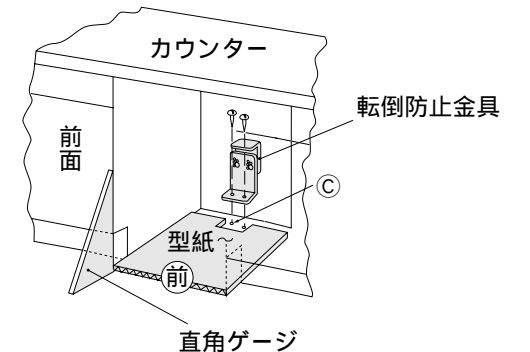
開いたドアを押さえたときに製品が転倒する恐れがあります。

- 1 転倒防止金具(A)、(B)(同梱)を調整した本体高さに合わせて2本のタッピンネジ小(同梱)で締める。

締付穴位置	本体高さ (mm)	
	キッチン高さ850	キッチン高さ800
①	800	750
②	805	755
③	810	760
④	815	765
⑤	820	770

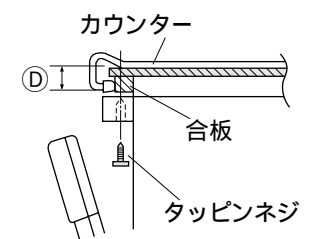


- 2 型紙(本体天面のダンボール)を床面に敷き、右図のように隣接する流し台等の前面に合わせてください。  
直角ゲージ(金尺、三角定規等)で正確に型紙を当てて位置決めしないと転倒防止の機能が果たされません。



- 3 切欠き部の◎に付属の転倒防止金具を置いて、同梱のタッピンネジ大(2本)で床面に取り付けてください。
- 4 型紙を外してください。(取り付けは完了します。)

コンクリート床面など転倒防止金具の取り付けが困難な場合は、本機のドアを開いてカウンター合板部分へ直にタッピンネジ2本で固定することもできます。(但し、人工大理石カウンター等はできません)  
タッピンネジの長さは、右図の◎寸法より5mm以上短くしてカウンターの金属部に接触させないでください。電気設備技術基準182条により義務づけられています。



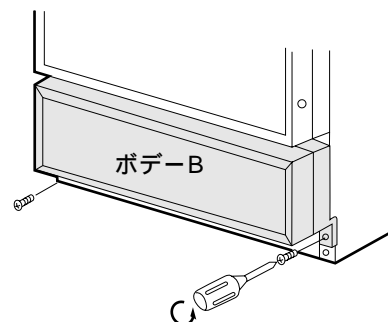
### 3 パネル(化粧板)の取り付け

( ドアパネル型のみ適用 )

パネルは別売品です

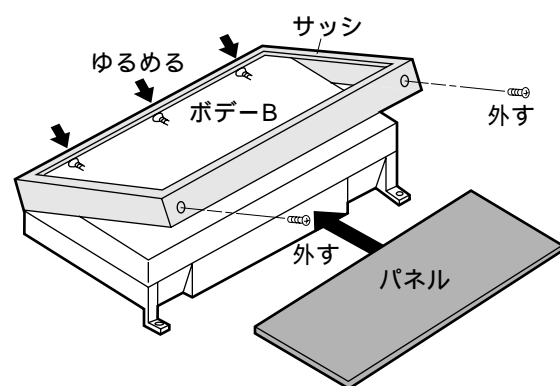
#### ボデー B

- 1 左右2カ所のネジを外し、少し上に持ち上げるようにして取り外します。  
(このボデーBは「試運転」終了まで取り外した状態にしておきます。)



- 2 サッシ上辺の3カ所のネジはゆるめて、下辺の2カ所のネジを外します。

- 3 サッシを持ち上げて、すき間から別売パネルをはめてネジを締めつけます。

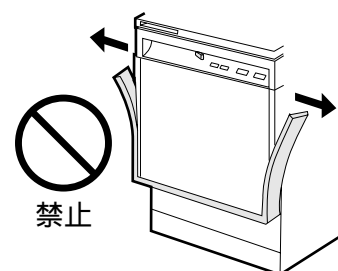
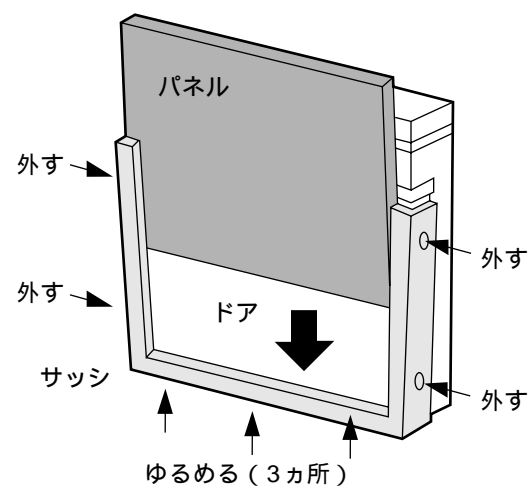


#### ドア

- 1 左右の4カ所のネジを外し、下辺の3カ所のネジをゆるめて、サッシを手前に引き外方向へ少し広がる状態にします。

- 2 別売パネルをサッシとドアの間に挿入し、サッシの下方を持ち上げて、別売パネルをドア上部の溝部にはさみ、左右4カ所のネジを仮止めします。

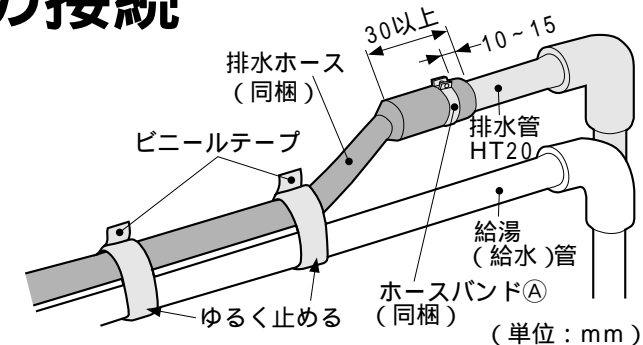
- 3 まず下辺の3カ所のネジを締めつけ、次に左右の4カ所のネジを締めつけます。



● サッシ上部を無理に広げないでください。  
サッシが破損する恐れがあります。

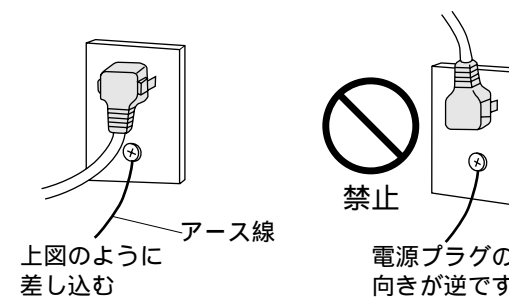
### 4 排水管と排水ホースの接続

- 1 排水ホース(同梱)を排水管HT20に十分に挿入し、ホースバンドA(同梱)で締めつけます。
- 2 給湯(給水)管へ排水ホースをビニールテープ等でとめます。

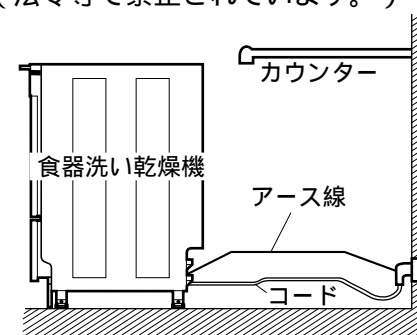


### 5 電源コード・アース線の接続

- 1 電圧が100Vであることを確認してから埋込みコンセントに電源プラグを差し込みます。



- 2 アース線をアースターミナルに接続します。ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には、絶対に接続しないでください。  
(法令等で禁止されています。)

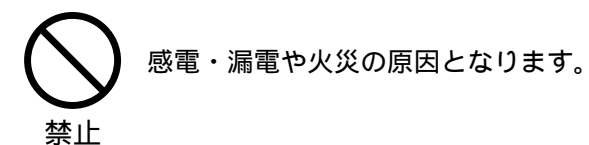


#### 警告

電源コードを切断したり、屋内配線ケーブルと直結したりしないでください。

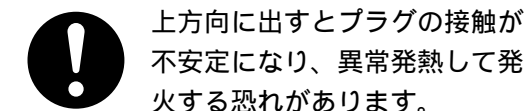


コンセントを床面にこころがして、電源プラグを差し込み使用しないでください。



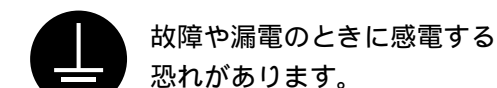
#### 警告

電源プラグはコードが下方方向に出るよう、コンセントに奥まで確実に差し込んでください。



#### 警告

アースを確実に取り付けてください。



アース線接続

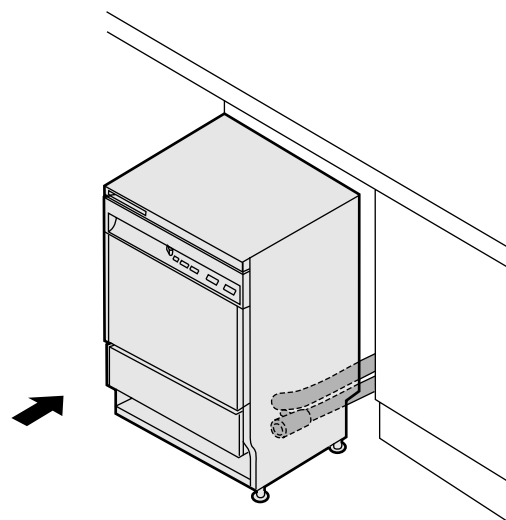
- アース工事は必ず販売店に依頼してください。



## 6 本体のビルトイン

隣接する機器等に注意し、給湯(給水)管・排水ホースが、台枠のトンネル部を通るように、本体の下方をゆっくりと押しながらビルトインしてください。

本体の金属部分が、家屋の壁中のラスや金属板、流し台のステンレス天板と電氣的に接触しないようにしてください。電気設備技術基準182条により義務づけられています。



### 警告

ビルトインのとき電源コード、アース線、排水ホース、給湯(給水)管に傷をつけないでください。



感電・漏電・火災や水もれの原因となります。

禁止

電源コードを転倒防止金具や調整脚との間に挟み込まないでください。



感電・漏電や火災の原因となります。

禁止

## 7 排水ホースの接続

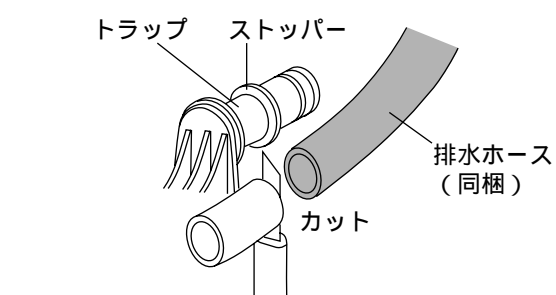
●排水ホース(同梱)を接続するトラップは台枠の保持部にはめ込んでいますので、はずれていないことを確認してください。

1 排水ホース(同梱)が折れないようにトラップのストッパーに合わせ、長すぎる場合はカットします。

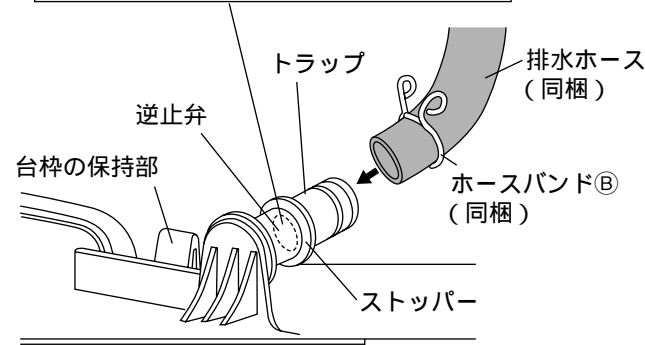
2 排水ホース(同梱)にホースバンド®(同梱)をはめます。

3 排水ホース(同梱)をトラップのストッパーに当たるまで挿入し、ホースバンド®(同梱)で固定します。

排水ホースをねじらないように



●逆止弁を押し込まないでください。排水不良の原因になります

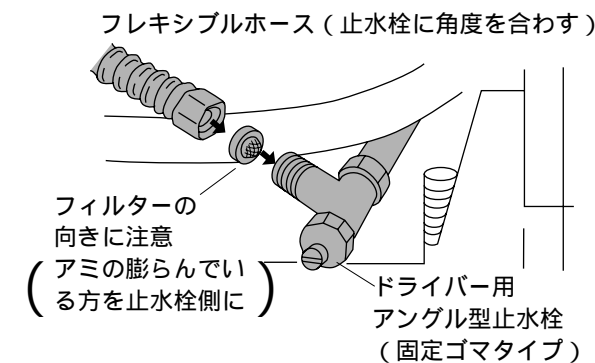


## 8 給湯(給水)管との接続

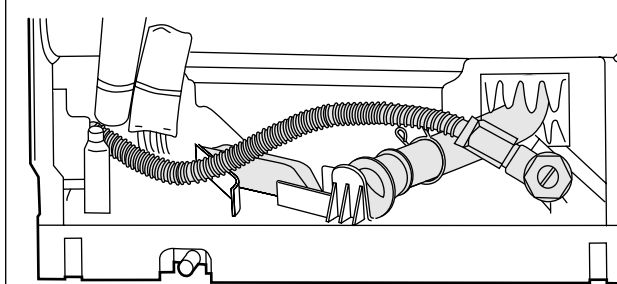
ドライバー用アングル型止水栓にフィルターを入れ角度を合わせてフレキシブルホース(本体)を確実に接続します。(フィルターはフレキシブルホースにテープ止めされています。)

ナットは手で軽く締め込んだ後、約半回転ぐらい締め付けてください。

適正締め付けトルクは5~10N・m(50~100kgf・cm)です。



### 給・排水ホース接続完成図



### 注意

フレキシブルホースは切断しないでください。



水もれの原因となります。

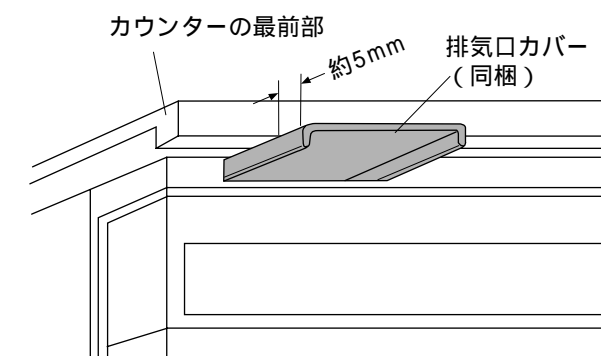
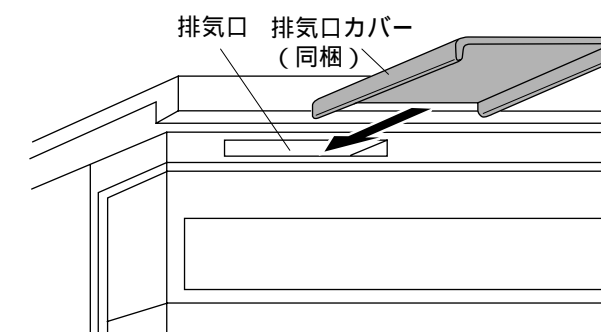
禁止

## 9 排気口カバーの取り付け

本体前面上部左側の排気口に同梱の排気口カバーを図のように差し込み、排気口カバーの前面がカウンターの最前部より5mm程度出る位置にセットします。

●排気口カバーの取り付けは必ず行ってください。カウンターの裏面芯材に腐食等の支障をきたす恐れがあります。

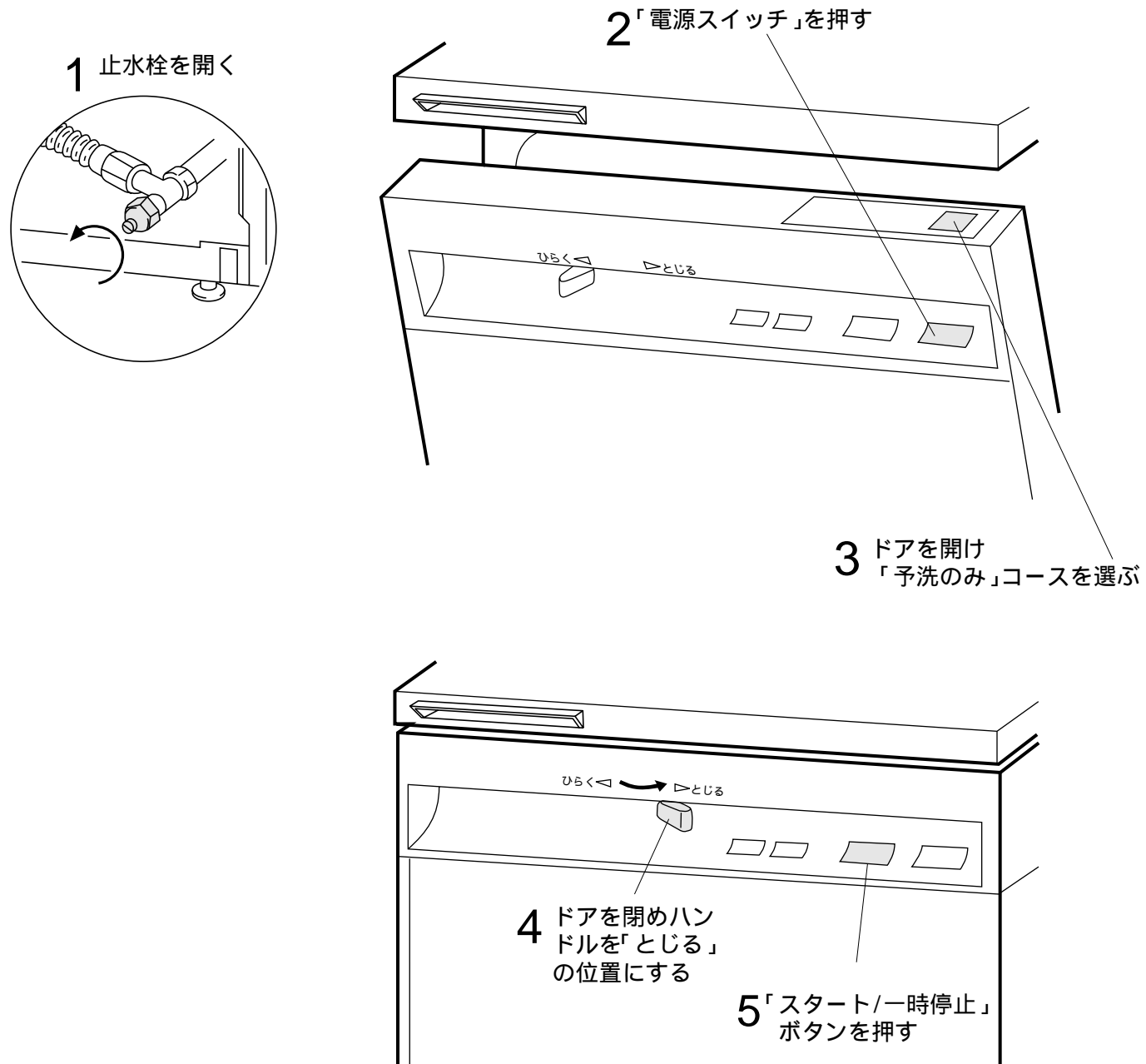
排気口カバーは5mmピッチで、最大35mmまで出す位置が調整できるようになっています。





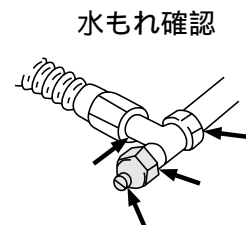
# 試運転

- あらかじめ電源が入ることと給湯(給水)の開栓を確認してください。
- 次の順序で試運転を行ってください。約8分で終了します。



## 確認項目

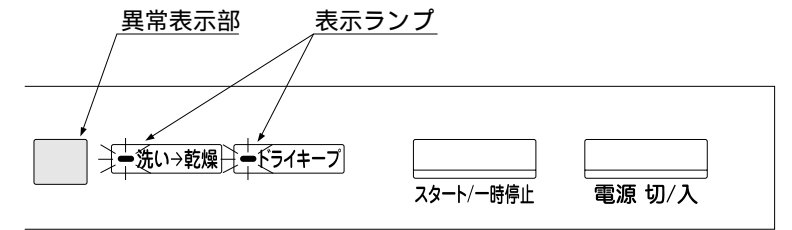
- 噴射音：バシャバシャ音がするか確認する。  
(一定量の水が入り、シャワーを噴射しながら庫内のノズルが回転する為)
- 運転中、給・排水の接続部や止水栓、その他からの水もれがないことを十分確認してください。
- 運転が終了しますとブザーが鳴り「電源スイッチ」が「切」になります。
- ドアを開け、庫内の水が排水されていることを確認してください。



試運転後は、止水栓を開いたままにしておいてください。

## 異常報知について

試運転で右図のように2カ所の表示ランプが点滅し、異常表示部にアルファベット及び数字が順次くり返し表示され、ブザーが鳴る場合は以下の内容を確認してください。



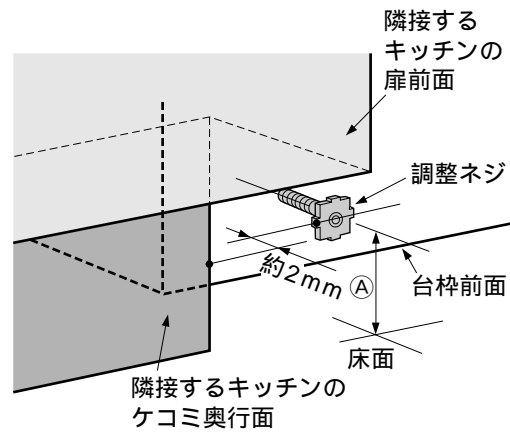
異常表示部	原因	処置
<p>くり返し</p>	<p>水もれ不良</p> <p>本機は底板に水もれ検知装置を備えており、これが動作したため。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源(ブレーカー)を切る。</li> <li>●ゴムキャップを外して、底板にたまった水を抜く。(約450mL) (給・排水接続部からの水もれの有無を確認)</li> <li>●水抜き後、ゴムキャップを差し込む。 (忘れずと検知装置が動作できません)</li> <li>●電源(ブレーカー)を入れる。</li> </ul> <p>水抜き用パイプ</p> <p>水受け</p> <p>ゴムキャップ</p>
<p>くり返し</p>	<p>排水不良</p> <p>排水ホースの折れや異物のつまりによって、洗浄槽内の水が排水できないため。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源スイッチを「切」にする。</li> <li>●排水ホースに折れぐせがついている場合は直す。</li> </ul>
<p>くり返し</p>	<p>給水不良</p> <p>断水や水道栓の開け忘れなどで給水ができないため。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源スイッチを「切」にする。</li> <li>●断水の場合は断水の回復を待って運転する。</li> <li>●水道栓(元栓および本体内の止水栓)は必ず開栓する。</li> </ul>

上記の処置後、再度試運転を行ってください。

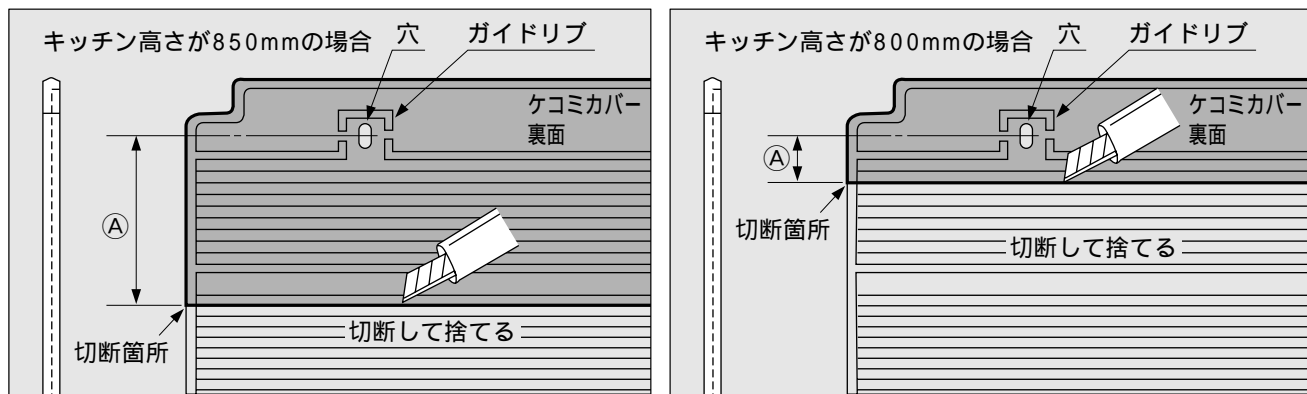
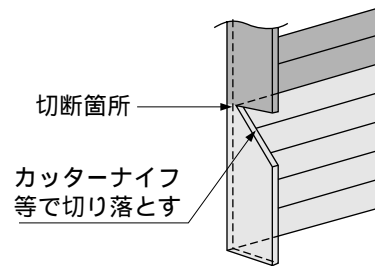
# 試運転後の作業

## 1 ケコミカバーの取り付け

- 1 台枠前面の調整ネジ（左右2カ所）をその前面が隣接するキッチンのケコミ奥行面より約2mmさがった位置になるように出代の調整を行います。この時、調整ネジの頭部の四角の一边が床面と平行になるようにしておきます。  
調整ネジは90°まわすごとに出代が1mmかわります。

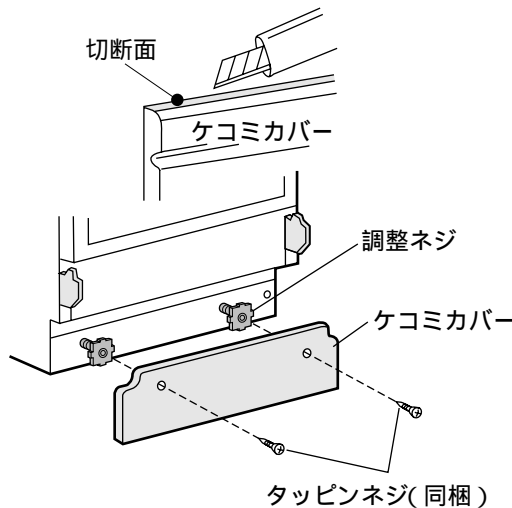


- 2 同梱のケコミカバーを裏面のV溝にそってカッターナイフ等で切断します。  
(キッチン高さにより、切断箇所が異なります。)  
床面と調整ネジのネジ穴の高さAをはかって合わせてケコミカバーのA寸法で切断します。  
左右のリブは右図のようにして切断します。



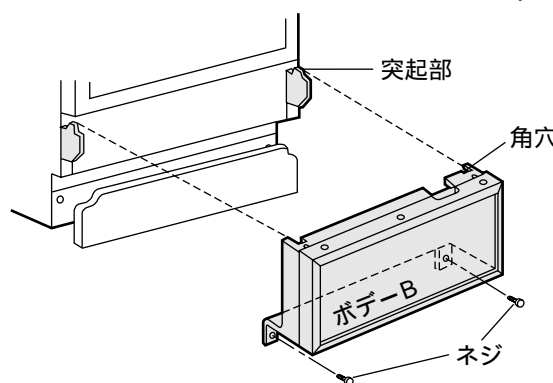
- 3 カッターナイフ等で切断面の端面処理をします。  
(切傷防止のため)

- 4 ケコミカバーの裏面に設けられているガイドリブ（左右2カ所）の間に調整ネジの四角の頭部をはめ込み、同梱のタッピンネジ（黒色2本）でケコミカバーを調整ネジに締め付けます。



## 2 ボデーBの取り付け

- ボデーBの上部の角穴を本体の突起部にはめ込んでから下部を（12ページ「ボデーB」1）で外したネジで締め付けます。  
(左右2カ所)



# 買い替え時のパネルの付け替えについて

(ドアパネル型のみ適用)

- 下表に示す機種種の買い替え時、ご使用になっているパネルを本機に付け替える場合別売のパネルスペーサーキット（品番N-SK1）が必要です。
- パネル付け替え方法については、別売のパネルスペーサーキットに付属の説明書に従って行ってください。

別売のパネルスペーサーキット（品番N-SK1）を使用して、本機にパネルの付け替えができる機種	NP-45A1P1タイプ、NP-45A2P1タイプ、NP-5800タイプ、NP-5500タイプ、NP-5600タイプ
--	--

# 買い替えの場合の配管施工例

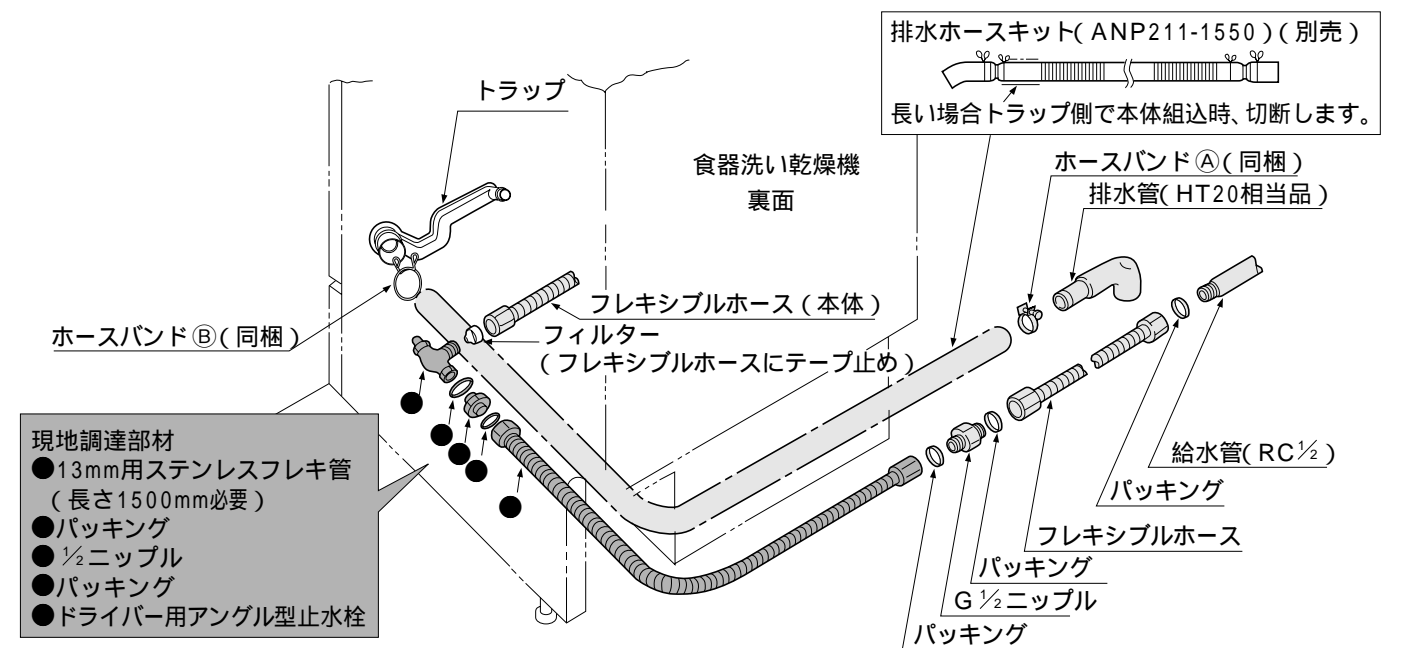
(NP-5600、NP-5500タイプの後面左右引き出しでの配管をすでにしている場合)

## 工事手順

- 1 現地調達部材（●～●）を用意してください。（下図）
- 2 現状の配管を取り外してください。  
取り外した配管部材は再使用しますので廃棄しないでください。  
(フレキシブルホース長さ950は短いため使用しません。)
- 3 下図のように配管します。  
給水側：現地調達部材と取り外した配管部材を使用  
排水側：取り外した配管部材か、別売の排水ホースキット（部品番号ANP211-1550）を使用

## お願い

- 配管後は必ず止水栓を開放し、接続からの水もれがないか確認してください。
- システムキッチンに設置する際、ホース折れのないようにしてください。
- 配管工事後は、10ページ以降の工事手順にしたがって行ってください。



# 工事後の点検(チェックリスト)

点 検	点 検 内 容	参照項目	チェック
機器 その 周辺	ド ア の 開 閉	他の機器への障害はありませんか。	5ページ
	排気口カバーの調整	アンダーカウンターにビルトインする場合、カウンターの最前部より5mm程度出ていますか。	15ページ
給湯 (給水) 排水 接続	給湯機との接続の場合	指定する給湯機に接続されていますか。	9ページ
	フ ィ ル タ ー	フレキシブルホースと止水栓との接続部にフィルターを挿入しましたか。	15ページ
	排 水 ホ ー ス	排水管との接続部と確実に接続したことを確認しましたか。また押しつぶされたり無理に折れ曲がったりしていませんか。	13ページ 14ページ
電 気 接 続	電源コンセントは専用回路で、電源プラグは125V 15Aのアースターミナル付埋込みコンセントに接続しましたか。	6ページ 13ページ	
	アース線を接続しましたか。	13ページ	
試 運 転	試運転を行い、正常に動作しましたか。	16ページ	

## 仕様

給湯・給水接続方式	給・排水管直結タイプ	
電 源	交流100V 50/60Hz共用	
消 費 電 力	洗浄モーター：50Hz.....110W      60Hz.....140W ヒーター ..... 1100W 最大消費電力：50Hz.....1210W      60Hz.....1240W	
1サイクル標準消費電力量	約1.1kWh	
外 形 寸 法	(幅)448mm×(奥行)574mm×(高さ)750~850mm	
製 品 質 量	約28kg	
水 道 水 圧	0.03~1MPa { 0.3~10kgf/cm <sup>2</sup> }	
洗 浄 方 式	回転ノズル噴射式	
すすぎ方式(標準コース)	NP-U45B2P1	ためすすぎ(3回) 給排水すすぎ(4回)
	NP-U45B3E1	ためすすぎ(4回) 給排水すすぎ(4回)
乾 燥 方 式	ヒーターとファンによる強制排気乾燥 ●加熱すすぎ後ヒーター加熱乾燥 ●ヒーター加熱乾燥のみ	
洗 浄 温 度	洗浄約60、加熱すすぎ約70	
標 準 収 納 容 量	51点	

## お客様への取り扱い説明

取扱説明書によって製品の取り扱いを説明してください。  
保証書に必要事項を記入のうえ、保管のお願いをしてください。

松下電器産業株式会社 ランドリービジネスユニット

〒561-0823 大阪府豊中市神州町1番2号

電話(大阪06)6331-0051(大代表)

© 2006 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd(松下電器産業株式会社) All Rights Reserved.

P9902-28020